

基本的なコール処理

各種の機能およびサービスを使用して、基本的なコール処理タスクを実行できます。機能の Availability が異なる場合、詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：基本的なオプション

次に、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法を紹介합니다。

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
ハンドセットを使用してコールを発信する	ハンドセットを取り上げて、番号を入力します。	「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」(P.57)
スピーカフォンを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。	「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」(P.57)
ヘッドセットを使用してコールを発信する	 () を押して、番号を入力します (通常、ボタン 23 がヘッドセットに割り当てられます)。	「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」(P.57)
番号をリダイヤルする	 を押して、最後の番号をダイヤルします。	「コールの発信：基本的なオプション」(P.21)
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> () > [ディレクトリ] を押します。[不在履歴]、[着信履歴]、または [発信履歴] を選択します。[ダイヤル] を押します。	「履歴の使用方法」(P.63)

ヒント

- ダイヤル トーンを聞かずにオンフックでダイヤルできます (プレダイヤル)。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げてオフフックにし、[ダイヤル] を押すか、 () または  を押します。

- プレダイヤルする場合、この電話機で発信履歴ログが利用可能な場合、そこから一致する電話番号を表示し、ダイヤルしている番号を前もって示す機能があります。これは自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルで表示された番号に発信するには、その番号までスクロールし、オフフックにするか[選択]ボタンを押します。
- 間違ってダイヤルした場合は、[<<]を押して、番号を消去します。
- コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールは監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- お使いの電話機に国際コールのログインを設定できる場合があります。これが設定されていると、通話履歴、リダイヤル、コールディレクトリの各エントリに「+」記号が表示されます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

コールの発信：その他のオプション

この電話機で利用可能な特別な機能やサービスを使ってコールを発信することができます。これらのその他のオプションについての詳細は、システム管理者にお問い合わせください。

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する（異なる回線を使用）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新しい回線の  を押します。最初のコールは自動的に保留状態になります。 2. 番号を入力します。 	「 コールの保留と復帰 」(P.27)
短縮ダイヤルを使用する	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> •  () を押します。 • 固定短縮ダイヤル機能を使用します。 • ファーストダイヤル機能を使用します。 	「 短縮ダイヤル 」(P.41)
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1.  () > [ディレクトリ] > [社内ディレクトリ] を選択します（名前は異なる場合があります）。 2. 名前を入力して [検索] を押します。 3. リストを強調表示し、オフフックにします。 	「 履歴の使用方法 」(P.63)

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
折返しを使用して、話し中または呼び出し中の内線が応対可能になったときに通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> ビジー音または呼出音が聞こえているときに、[折返し]を押します。 切断します。回線がフリーの状態のときは、電話機により通知されます。 再びコールを発信します。 <p>(注) Call Chaperone ユーザの Cisco Unified IP Phone では、コールが監視されている場合、折返し機能が無効になります。</p>	システム管理者
短縮ダイヤルに関連付けられている回線にコールを発信する前に、その回線がビジー状態かどうかを確認する	ビジー回線機能のインジケータを確認します。	「BLF の使用による回線の状態の確認」(P.48)
プライオリティ (Precedence) コールをかける	MLPP アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	「重要なコールの優先順位付け」(P.50)
個人アドレス帳 (PAB) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none">  > [ディレクトリ] > [パーソナルディレクトリ] を押して、ログインします。 [個人アドレス帳] を選択し、リストを検索します。 	「電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法」(P.67)
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 番号をダイヤルします。 トーンの後、CMC (クライアントマターコード)、または FAC (Forced Authorization Code) を入力します。 	システム管理者
エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機でエクステンション モビリティ サービスにログインします。	「Cisco エクステンション モビリティの使用」(P.51)

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
モバイル ボイス アクセスを使用して携帯電話からコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. モバイル ボイス アクセス番号とエンドユーザの PIN をシステム管理者から入手します。 2. 割り当てられたモバイル ボイス アクセス番号にダイヤルします。 3. 携帯電話の番号（要求された場合）と PIN を入力します。 4. 1 を押して、会社の IP Phone にコールを発信します。 5. デスクトップの電話番号にダイヤルします（自分のデスクトップの番号以外）。 	「1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理」(P.53)
ファースト ダイヤルを使用してコールを発信する	<p>(注) この機能を使用するには、事前にシステム管理者がこの機能を設定し、サービス URL を回線ボタンに割り当てておく必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [ファースト ダイヤル] 回線ボタンを押します。 2. インデックス番号までスクロールするかインデックス番号を押すかして、エントリを探し、選択します。 指定した番号がダイヤルされます。 	「Web でのファースト ダイヤルの設定」(P.76) 「Web での個人アドレス帳の使用法」(P.75)
PAB を使用してコールを発信する	<p>(注) この機能を使用するには、事前にシステム管理者がこの機能を設定し、サービス URL を回線ボタンに割り当てておく必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [PAB] 回線ボタンを押します。 2. 連絡先にアクセスし、番号を選択します。 指定した番号がダイヤルされます。 	「Web でのファースト ダイヤルの設定」(P.76) 「Web での個人アドレス帳の使用法」(P.75)

コールへの応答

コールに応答するには、ハンドセットを取り上げるか、電話機で利用できるその他のオプションを使用します。

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
ヘッドセットで応答する	<p>● () が点灯していない場合、押します。● () が点灯している場合は、[応答] または (点滅) を押します。</p> <p>(注) 呼び出す回線は自動的に選択されます。プライマリ回線を常に選択するオプションについては、システム管理者に問い合わせてください。</p> <p>無線ヘッドセットを使用している場合は、無線ヘッドセットのマニュアルを参照してください。</p>	「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」(P.57)
スピーカフォンで応答する	<p>☎、[応答]、または (点滅) を押します。</p> <p>(注) 呼び出す回線は自動的に選択されます。プライマリ回線を常に選択するオプションについては、システム管理者に問い合わせてください。</p>	「ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法」(P.57)
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	[応答] を押すか、別の回線で呼出音が鳴っている場合は、(点滅) を押します。	「コールの保留と復帰」(P.27)
コール待機を使用して応答する	[応答] を押します。	「コールの保留と復帰」(P.27)
ボイスメッセージシステムにコールを送信する	[即転送] を押します。	「ボイスメッセージシステムへのコールの送信」(P.31)
コールに自動接続する	自動応答を使用します。	「ヘッドセットまたはスピーカフォンでの自動応答の使用」(P.59)
別の電話機でパークされたコールを取得する	コールパークまたはダイレクトコールパークを使用します。	「パークされているコールの保存と取得」(P.44)
電話機を使用して、他の場所で呼び出し中のコールに応答する	コールピックアップを使用します。	「自分の電話機で他の電話機の着信に応答」(P.43)

目的	必要な操作	参照先または問い合わせ先
プライオリティ コールに 応答する	現在のコールを切断し、[応答]を押します。	「重要なコールの優先順位付け」(P.50)
携帯電話または他のリモート接続先でコールに 応答する	モバイル コネクトを設定して電話に応答します。 モバイル コネクトを有効にして携帯電話でコールに応答し、最高 4 台の IP 電話機またはソフトフォンを共有回線として設定した場合、追加の電話は点滅を停止します。	「1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理」(P.53)

ヒント

- コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合、そのコールは監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
- Call Chaperone ユーザは、コールが監視されている時は着信コールに応答できません。

コールの終了

コールを終了するには、切断します。詳細を次に示します。

目的	必要な操作
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または [終了] を押します。
ヘッドセットを使用しているときに切断する	 () を押します。または、ヘッドセット モードをアクティブのままにするには、[終了] を押します。
スピーカフォンを使用しているときに切断する	 または [終了] を押します。

コールの保留と復帰

コールを保留および復帰することができます。コールを保留にすると、コール情報領域の右に保留アイコン  が表示され、対応する回線ボタンが緑色  に点滅します。共有回線でコールを保留にすると、回線ボタンが緑色に点滅し、電話にローカル保留アイコンが表示されます。別の電話がコールを保留にすると、回線ボタンは赤色  に点滅し、電話にリモート保留アイコン  が表示されます。

別のユーザが共有回線を保留にすると、関連付けられている回線ボタンに  (点滅) が表示されます。ユーザまたは回線を共有する任意のユーザが、このコールを復帰できます。

電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定の時間が経過した後に復帰し、呼出音が再び鳴るようになります。「復帰」コールは、ユーザが保留解除するまで、または保留復帰がタイムアウトするまで保留状態のままです。

復帰コールの存在は、電話機の次のアクションによって示されます。

- 一定の間隔で呼出音 (点滅やビープ音など、電話回線の設定によって異なる) を 1 回鳴らして警告する
- 電話スクリーン下部のステータス バーに「保留復帰」という短いメッセージを表示する
- 保留コールの発信者 ID の横に保留復帰アイコン  の動画を表示する
- 回線ボタン  が表示される (回線状態によっては点滅)

目的	必要な操作
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none"> 1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。 2.  を押します。
現在の回線にあるコールの保留を解除する	<ul style="list-style-type: none"> • 点滅している保留中のコールの場合、、、または  のいずれかを押します。 • 適切なコールを強調表示し、[復帰] または  を押します。

ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 着信コールと復帰コールが同時に存在するというアラートが発生すると、デフォルトでは、電話機のスクリーンは着信コールの表示にフォーカスを移します。システム管理者は、このフォーカス優先度の設定を変更できます。
- 共有回線を使用している場合、保留復帰の呼出音は、コールを保留している電話機でのみ鳴りません。回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰のアラートが発生する間隔は、システム管理者が決定します。
- Call Chaperone ユーザの Cisco Unified IP Phone では、コールが監視されている場合、保留機能が無効になります。

ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットでミュートを使用できます。

目的	必要な操作
マイクをオンにする	 を押します。
マイクをオフにする	 を押します。

複数のコール間での切り替え

複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。

目的	必要な操作
別の回線の保留コールに切り替える	切り替える回線の  (点滅) を押します。
接続コールから切り替えて呼び出し中のコールに応答する	 を押します。アクティブなコールは保留状態になり、選択されたコールは復帰します。

進行中のコールの他の電話機への切り替え

進行中のコールは、デスクトップの電話機と、携帯電話または他のリモート接続先の電話機との間で切り替えることができます。

目的	必要な操作
進行中のコールを携帯電話から同じ回線を共有するデスクの電話機に切り替える（セッションハンドオフ）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 携帯電話でセッションハンドオフ機能のアクセスコード（*74 など）を押します。アクセスコードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。 2. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。 3. デスクトップの電話機で 10 秒以内に [応答] ソフトキーを押し、デスクトップの電話機で通話を開始します。デスクの電話機でコールに回答するまでの秒数は、システム管理者によって設定されます。 <p>同じ回線を共有する他の Cisco Unified デバイスには、「リモートで使用中」メッセージが表示されます。コールを再開するまでの秒数は、システム管理者が行う設定によって決まります。</p>
進行中のコールを携帯電話からデスクトップの電話機に切り替える	<ol style="list-style-type: none"> 1. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。 2. デスクトップの電話機で 4 秒以内に [復帰] を押して、デスクトップの電話機で会話を開始します。
携帯電話からの進行中のコールを、同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスへ切り替える（セッションハンドオフ）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。 2. Cisco Unified デバイスのいずれかで 10 秒以内に [応答] を押し、その電話機で通話を開始します。 <p>同じ回線を共有する他の Cisco Unified デバイスには、「リモートで使用中」メッセージが表示されます。コールを再開するまでの秒数は、システム管理者が行う設定によって決まります。</p>

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。ターゲットはコールを転送する先の番号です。コールを転送すると、新しい回線を使用して転送が開始されます。

目的	必要な操作
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールで、 を押します。2. 転送先の番号を入力します。3.  をもう一度押して転送を完了するか、[終了]を押してキャンセルします。 <p>(注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、ハンドセットを置くことによって転送を完了します。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する（打診転送）	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールで、 を押します。2. 転送先の番号を入力します。3. 相手が応答するのを待ちます。4.  をもう一度押して転送を完了するか、[終了]を押してキャンセルします。 <p>(注) 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、ハンドセットを置くことによって転送を完了します。</p>
ボイスメッセージシステムにコールをリダイレクトする	[即転送]を押します。詳細は、「 ボイスメッセージシステムへのコールの送信 」(P.31)を参照してください。

ヒント

- 電話機でオンフック転送が有効な場合は、切断してコールを完了するか、または  を押してから切断することができます。
- 電話機でオンフック転送が有効でない場合は、 をもう一度押さずに切断すると、コールが保留状態になります。
-  を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。[復帰]を押して、転送前にコールの保留を解除してください。
- Call Chaperone ユーザの Cisco Unified IP Phone では、コールが監視されている場合、転送機能が無効になります。

ボイス メッセージ システムへのコールの送信

[即転送] を使用して、アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、[即転送] を使用して通話相手のボイス メッセージ システムにコールを転送することもできます。

- コールが最初から自分以外の誰かの電話機に送信されていた場合は、[即転送] でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのどちらかにリダイレクトすることができます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記で説明したオプションをサポートしていない場合、[即転送] を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。

目的	必要な操作
アクティブ、呼び出し中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信する	<p>[即転送] を押します。次のどちらかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールが自分のボイス メッセージ システムに転送されます。 • 電話機のスクリーンに、自分のボイス メッセージ システムと本来のコール先のボイス メッセージ システムを選択できるメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。

ヒント

- 電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、[即転送] をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると（セッション ハンドオフ）、Cisco Unified デバイスの即転送機能は無効になります。即転送機能は、コールが終了すると復帰します。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記で説明したオプションをサポートしていない場合、[即転送] を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると（セッション ハンドオフ）、Cisco Unified デバイスの即転送機能は無効になります。即転送機能は、コールが終了すると復帰します。

別の電話番号へのコールの転送

コール転送機能を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

システム管理者によって設定されている場合は、次の 2 種類のコール転送機能から選択できます。

- 無条件のコール転送（不在転送）：受信したすべてのコールに適用されます。
- 条件付きコール転送（無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送）：条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。

不在転送機能には電話機または Cisco Unified CM ユーザ オプション Web ページからアクセスできますが、条件付きコール転送機能には、ユーザ オプション Web ページからのみアクセスできます。どのコール転送機能を使用できるかは、システム管理者が決定します。

目的	必要な操作
プライマリ回線の不在転送を設定する	[不在] を押して、転送先の電話番号を入力します。 (注) 電話機によっては、プライマリ回線と同じ電話番号に追加の回線キーが割り当てられていることがあります。その場合（かつ、その電話番号へのすべてのコールを転送する場合）は、回線ごとにコール転送を設定する必要があります。
プライマリ回線の不在転送をキャンセルする	[不在] を押します。
プライマリ回線の不在転送が有効になっているかどうかを確認する	次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> • 常に回線キー 1 にあるプライマリ電話番号の横にコール転送アイコン  が表示されている。 • ステータス行にコール転送の転送先番号が表示されている。
リモート操作によって、またはプライマリでない回線に対して、コール転送を設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします（「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」(P.73) を参照してください）。 2. コール転送の設定にアクセスします（「Web での回線設定の制御」(P.81) を参照してください）。 (注) プライマリ回線以外の回線でコール転送を有効にした場合、電話機ではコールが転送されていることを確認できません。ユーザが自分でユーザ オプション Web ページの設定を確認する必要があります。

ヒント

- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することができます。ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線固有です。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- 不在転送を電話機から直接設定すると、設定が拒否される場合があります。設定が拒否されるのは、コール転送ループを招く転送先番号が入力された場合、またはコール転送チェーンで許可された最大リンク数を超えることになる転送先番号が入力された場合です。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると（セッションハンドオフ）、Cisco Unified デバイスでコール転送機能が無効になります。コール転送機能は、コールが終了すると復帰します。

サイレントの使用

サイレント機能を使用すると、電話機の呼出音だけをオフにしたり、音声と表示による着信コール通知をすべてオフにしたりできます。電話機のサイレント機能を有効にするのはシステム管理者です。

電話機で [サイレント] と [コール転送] の両方が有効になっている場合、コールは転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

サイレントと他の種類のコールとの相関関係は、次のとおりです。

- サイレントは、インターコム コールにもインターコム以外のプライオリティ コールにも影響しません。
- サイレントと自動応答の両方が有効になっている場合、インターコム コールだけが自動応答されます。
- 進行中のコールを、携帯電話から同じ回線を共有する Cisco Unified デバイスに切り替えると（セッションハンドオフ）、Cisco Unified デバイスでサイレント機能が無効になります。サイレント機能は、コールが終了すると復帰します。

目的	必要な操作
サイレントをオンにする	[サイレント]を押します。 電話機に「サイレント」と表示され、サイレント ライト（点灯）が点灯し、呼出音がオフになります。
サイレントをオフにする	[サイレント]を押します。
サイレントの設定値をカスタマイズする	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページにログインします。「ユーザ オプション Web ページへのアクセス」(P.73)を参照してください。 2. [ユーザオプション]>[デバイス]を選択します。 3. 次のオプションを設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • [サイレント]: サイレントを有効または無効に設定します。 • [DND オプション]: [コール拒否]（音声および表示による通知をオフにする）または[呼出音オフ]（呼出音だけをオフにする）を選択します。 • [DND 着信呼警告]（設定された DND オプションに適用される）: アラートをビープ音のみまたは点滅のみに設定するか、アラート通知を無効にします。または、[なし]を選択します（システム管理者が設定した「アラート」設定が使用されます）。

会議コールの使用法

Cisco Unified IP Phone では、1 台の電話機の会話に 3 名以上の人々を参加させて、会議コールを作成できます。

会議の各機能の使用法

会議は、必要に応じて、また電話機で使用できる機能に応じて、次に示す方法で開催できます。

- 会議：参加者それぞれにコールを発信することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンを使用します。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。
- 参加：既存の複数のコールを結合することによって、標準の（アドホック）会議を開催できます。[参加] ソフトキーを使用します。
- ミートミー：会議番号にコールを発信することによって、会議を開催したり、会議に参加したりできます。[ミートミー] ソフトキーまたはボタンを使用します。

会議機能の使用法

会議機能を使用すると、参加者それぞれにコールを発信できます。会議機能は、ほとんどの電話機で使用できます。

目的	必要な操作
参加者にコールを発信して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接続コールで、[会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンを押します（必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[会議] ソフトキーを表示します）。 2. 参加者の電話番号を入力します。 3. コールの接続を待ちます。 4. [会議] ソフトキーまたは [会議] ボタンを再び押して、新しい参加者をコールに追加します。 5. この操作を繰り返して、参加者を 1 人ずつ追加します。
既存の会議に新しい参加者を追加する	<p>上記の手順を繰り返します。</p> <p>会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかは、システム管理者が決定します。</p>
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	[参加者] または [会議リスト] を押します（必要に応じて、先に [次へ] ソフトキーを押します）。「 会議参加者の表示または削除 」(P.37) を参照してください。

ヒント

- 3 人以上の通話相手を結合して 1 つの会議を開催することが多い場合、結合する複数のコールを先に選択してから [参加] を押すと操作が完了するので、便利です。
- 参加の処理が完了すると、発信者 ID が「会議」に変わります。
- Call Chaperone ユーザは最初の発信者とのみ会議できます。2 人目以降の発信者は、会議の他の参加者と会議を行うことができます。

参加機能の使用方法

参加機能を使用すると、複数の既存のコールを結合して、自分が参加者となる会議を開催できます。

目的	必要な操作
複数の既存コールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブなコールで [参加] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[参加] を表示します)。 2. 会議に含めるコールに対応する、緑色で点滅している回線ボタン  を押します。 次のどちらかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • コールが結合されます。 • 結合するコールを選択するよう求めるウィンドウが電話機のスクリーンに表示されます。操作を完了するには、コールを強調表示し、[選択] を押してから、[参加] を押します。
複数の電話回線上の複数の既存コールを結合して会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブなコールで [参加] を押します (必要に応じて [次へ] ソフトキーを押して、[参加] を表示します)。 2. 会議に含めるコールに対応する、緑色で点滅している回線ボタン  を押します。 次のどちらかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • コールが結合されます。 • 結合するコールを選択するよう求めるウィンドウが電話機のスクリーンに表示されます。操作を完了するには、コールを強調表示し、[選択] を押してから、[参加] を押します。 <p>(注) 複数回線のコールの参加が電話機でサポートされていない場合は、参加機能を使用する前に、コールを単一の回線に転送します。</p>
参加者のリストを表示する、または参加者を削除する	[参加者] または [会議リスト] を押します (必要に応じて、先に [次へ] ソフトキーを押します)。「 会議参加者の表示または削除 」(P.37) を参照してください。

ヒント

- 3人以上の通話相手を結合して1つの会議を開催することが多い場合、結合する複数のコールを先に選択してから [参加] を押すと操作が完了するので、便利です。
- 参加の処理が完了すると、発信者 ID が「会議」に変わります。

ミーティングの使用法

ミーティング会議では、会議番号に発信することで、会議の開催や参加をすることができます。

目的	必要な操作
ミーティング会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. システム管理者からミーティング電話番号を取得します。 2. 参加者に番号を配布します。 3. 会議を開催する準備ができたなら、オフフックにしてダイヤルトーンを受信し、[ミーティング]を押します。 4. ミーティング会議番号をダイヤルします。 ダイヤルインすることにより、参加者は会議に参加することができます。 <p>(注) 会議の開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。この場合、参加者はコールバックする必要があります。</p>
ミーティング会議に参加する	<p>ミーティング会議番号をダイヤルします（この番号は会議の開催者から提供されます）。</p> <p>(注) 会議の開催者の参加よりも前に会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。この場合、再びコールします。</p>
ミーティング会議を終了する	<p>参加者全員が、切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。</p>

ヒント

セキュリティ保護されていない電話機から安全なミーティング会議番号にコールすると、電話機に「認証されていないデバイス」というメッセージが表示されます。詳細については、「[安全なコールの送受信](#) (P.49) を参照してください。

会議参加者の表示または削除

標準の（アドホック）会議中に、参加者のリストを表示したり、参加者を削除したりできます。

会議の参加者のリストを表示する	<p>[参加者] または [会議リスト] を押します</p> <p>会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。</p>
会議の参加者のリストを更新する	<p>会議の参加者のリストを表示している状態で、[更新] を押します。</p>

会議の開催者を確認する	会議の参加者のリストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク（*）の付いた参加者）を検索します。
会議の任意の参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、参加者の名前を強調表示し、[削除]を押します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、[ドロップ]ソフトキーまたは[最後の参加者の削除]ボタンを押します。
会議コールのセキュリティを確認する	「会議」の次に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
セキュリティ保護されている電話機から参加者がコールを発信していることを確認する	参加者の名前の横に  アイコンまたは  アイコンが表示されているか電話機のスクリーンで確認します。
別の参加者を追加する	「 会議機能の使用方法 」(P.35)を参照してください。

インターコム コールの発信と受信

ミュートをアクティブにしたスピーカフォン モードでコールに自動応答する通話先の電話機にインターコム コールを発信できます。一方向のインターコム コールでは、通話相手に短いメッセージを配信できます。通話相手のハンドセットまたはヘッドセットが使用中の場合、使用中のデバイスに音声を送信されます。ユーザの通話相手が現在実行中のすべてのコール アクティビティは同時に継続されません。

通話相手はインターコムのアラート トーンを受信し、次のいずれかを選択します。

- マイクフォンをミュートにして発信者の通話を聞く（発信者の声は聞こえるが、発信者は通話相手の声が聞こえない）。
- インターコム コールにフォーカスが置かれた状態で、[終了]ソフトキーを押してインターコム コールを終了する。メッセージを聞かない場合はこの方法を選択します。
- アクティブなインターコム ボタンを押し、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカを使用して、発信者と会話する。インターコム コールは双方向の接続になるため、発信者と対話できません。

インターコム機能を使用する場合は、次の点に注意してください。

- 1つのインターコム回線からは、他のインターコム回線にのみダイヤルできます。
- 同時に使用できるインターコム回線は1つだけです。
- アクティブなコールが監視または記録されているときは、インターコム コールを受信または発信できません。
- インターコム コールは保留にできません。



(注) Cisco エクステンション モビリティ プロファイルを使用して日常的に同じ電話機にログインする場合は、システム管理者がそのプロファイルにインターコム情報を含む電話ボタン テンプレート を割り当てていることを確認し、電話機をインターコム回線のデフォルトのインターコム デバイスとして割り当ててください。

目的	必要な操作
事前定義したインターコムの通話相手の番号に、インターコム コールを発信する	● (インターコムの通話相手の回線) を押し、インターコムのアラート トーンが聞こえてから話し始めます。
事前定義していないインターコムの通話相手の番号に、インターコム コールを発信する	● () を押します。インターコムの通話相手の番号を入力するか、相手の短縮ダイヤル番号を押します。インターコムのアラート トーンが聞こえてから話し始めます。
インターコム コールを受信する	インターコムのアラート トーンが聞こえたら、次のいずれかの方法でコールを処理します。 <ul style="list-style-type: none"> • 一方向のオーディオでメッセージを聞きます。 • (アクティブなインターコム回線) を押して発信者と会話をします。 • インターコム コールにフォーカスがある状態で [終了] を押します。

